

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す。

きらきら通信

冬号

2013.1月

11月定例県議会開催

文教警察常任委員会

前橋商業高校・ビジネス総合学科の定員差別??
カモシカ被害の対策について

放射能対策特別委員会

震災ガレキ、前橋市でも正式に受入れ表明

～投票に行こう！前橋市議会議員選挙～

森林環境税—ぐんま緑の県民税

滝川お掃除大作戦

県外調査





希望の地図を描こう。

2013年の始まり。皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。たくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらから年賀状を出せないのが残念です。年末に執行された衆院選は自民党の圧勝で終わりました。民主党政権への厳しい審判がくだされたのと同時に、投票率の低さや政党支持率の割合をみると、国民の民意はかつてのような自民党政治への回帰を積極的に選んだわけでもなさそうです。第三極という新しいキーワードも生まれ、注目された選挙でしたが、心配していた投票率は過去最低という結果に…。「誰がやっても同じだ」「投票しても何も変わらない」そんな声も聞こえてきます。しかし、嘆いていても、批判をしても、何も変わりません。1票を投じないことには変わりようがないのだと思います。私たちの意思に基づく行動こそがやはり政治の原点になるのです。困難な時代、悲しいこともあるけれど、希望に向けて、一步ずつ前に…。本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県議会議員 小川あきら

議会報告

11月議会が11月26日～12月14までの間で開催されました。今議会では、通学路の安全対策や橋梁の老朽化対策などを含む12億7100万円の増額及び7億9500万円の県職員等の退職手当の減額を行う一般会計補正予算をはじめ、50の議案と9つの意見書が可決されました。

★一般質問雑感

突然の衆議院解散で、あわただしい日程の中で行われた今会議。私は3日目の12月4日に一般質問を行う予定でしたが、衆院選の公示日と重なり急きょ議会の日程がずれるというハプニングもありました。そんなわけで、12月5日、2度目の一般質問に立

たせていただきました。急な日程変更にもかかわらず傍聴に来てくださいました皆さん、テレビやインターネットで見ていただいた皆さん、本当にありがとうございました。日頃大変お世話になっている大先輩からも、質問終了後に控え室にお電話をいただき、また、メールで感想を送ってくれたお友達も…。本当にありがとうございます。今回は、日ごろから興味をもって取り組んでいる①投票率の向上について、②女性に対する支援について、③産廃問題について、④フェイスブックを活用した観光誘客についてを取り上げました。時間が限られているので、項目を絞り込むのにはいつも悩まされます。投票率の向上策については、民主主義の意義を丁寧に論じたり、他県での取り組みをもっと掘り下げて議論を展



開すればよかったな、と早速反省。この衆議院議員選挙から、選挙公報をHPで公表してもらえるように要望させていただきました。また、女性に対する支援については、ストーカーの相談件数が740件を超えていたり、保護対策用の個人警報装置(ココセコム)が25台しか配備されていないこともわかりました。1人の方が3ヶ月～1年位利用するので、この25台は常時貸し出し状態だそうです。ストーカーの不安に悩む女性を安心させるためにも、ココセコムの増配備をお願いさせていただきました。産廃問題については、富岡市のアスベスト処理施設の建設について、富岡市長、富岡市議会から反対の陳情が届いており、また3万8千人を超える地元の反対署名があがっていることから、県としても明確に反対するべきではないか、と質問させていただきました。知事からは、「地元の意見をしっかりと聞いて、国に対しては意見を述べていく」という答弁。しっかりと地元の声を聞いてもらいたいと思います。

文教警察常任委員会

前橋商業高校・ビジネス総合学科の定員差別??

受験生の親御さんから「どうして男性と女性で定員が違うの??」という相談がありました。前商のビジネス総合学科では、男性160人、女性80人と定員が区別されており、これでは同じ成績でも女性のほうが不合格になってしまふので、是正を要望させていただきました。歴史的な背景があって、以前はもっと男女の定員差が開いていたそうですが、時代も変わってきたので、少しずつ検討していきたいという答弁を頂きました。

カモシカ被害の対策について

深刻な農作物等の鳥獣被害。文教警察委員会の中でも活発に議論がなされています。なぜかというと、カモシカは天然記念物であり、教育部門の文化財保護課が管轄になっているからです。部局を超えた連携が必要です。

一般質問

本会議において、議員が行政の施策の状況や方針等について、報告、説明を求めたり質問することを一般質問といいます。群馬県議会では、1年間に1回、議員全員が順番で質問する仕組みになっており、質問時間は65分と決まっています。また、円滑な議会運営を

放射能対策特別委員会

震災ガレキ、前橋市でも正式に受け入れ表明。

既に処理が始まっている吾妻東部衛生施設組合と桐生市に継いで受け入れ表明で、環境省から群馬県に要請のあった2万7800トンのうち、桐生市で2万トン、残りの7800トンを前橋市で処理することになりました。一方で、市民の放射能に対する不安は未だに解消されてない部分もあります。今後の処理にあたっても住民に対してしっかりと説明・情報提供を行う必要があります。

お知らせ

~投票に行こう! 前橋市議会議員選挙~

告示日 平成25年2月10日(日)

投票日 平成25年2月17日(日)

今回の選挙から議員定数が43人→38人となります。



森林環境税—ぐんま緑の県民税

県が導入を検討している森林環境税の制度案が発表されました。県民負担は個人年間700円、法人は県民税を7%上乗せすることとし、1年間で8億2千万円を見込んでいます。課税期間は5年間。使途は森林環境の保全に限定し、森林整備やボランティア活動の「森林環境の保全事業」に5億5千万円、自治体主導の竹林整備など「市町村提案型事業」に2億6千万円を充てる計画です。平成26年から導入予定となっています。

県議会の豆知識



行うため、質問の2日前までにどんなことを質問するのかをあらかじめ通告しなければなりません。これには、質疑の形骸化につながるとの批判もあります。一般質問はどなたでも自由に傍聴できるので、ぜひ県議会に足をお運び下さい!



活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 10月 21日 前箱田町文化祭
10月 22日 ぐんま女性議員政策会議研修・知事要望
10月 27日 スマイルキッズショッパーズ、前橋ハロウィン
10月 28日 東地区グランドゴルフ大会
10月 29日 前橋工業団地造成組合定例会議
10月 31日 都市計画審議会
11月 1日 箱田中学校30周年記念式典
11月 7~9日 放射能対策特別委員会・県外調査(福島、青森)
11月 10日 東公民文化祭
11月 11日 新町SVCスポーツ少年団創立45周年祝賀パーティー
11月 13日 全国都道府県議会議員研究交流会
11月 19日 議員団会議
11月 20日 野菜グルメの会
11月 22日 文教警察常任委員会
11月 23日 館林JC防災訓練
11月 24日 日本青年会議所群馬ブロック協議会全体会議
11月 25日 滝川掃除
11月 26日 11月定例県議会開会(12/14まで)
11月 29日 一般質問
11月 30日 一般質問
12月 2日 下新田町防災訓練
12月 4日 第46回衆院選公示
12月 5日 一般質問
12月 6日 文教警察常任委員会、農政懇談会
12月 8日 前橋JC卒業例会
12月 11日 放射能対策特別委員会
12月 13日 議員団会議、倫理法人会懇親会
12月 14日 本会議(閉会)
12月 16日 第46回衆院選投票日
12月 18日 議員団会議
12月 19日 農業経営士・農村生活アドバイザーとの意見交換会
12月 20日 前橋工業団地造成組合定例会議
12月 21日 都市計画審議会
12月 22日 国道17号上武道路開通式、連合議員懇・意見交換会
12月 25日 リベラル群馬来年度予算提言
1月 1日 新年互礼会(前箱田町、古市町、江田町他)
1月 6日 前橋市消防出初式、やまびこハイキング新年会
1月 7日 前橋商工会議所新年互礼会
1月 8日 群馬県建設業協会前橋支部新年互礼会
1月 9日 群馬県議会新春交流会、上毛新聞社新年交歓会
前橋初市まつり・お焚き上げ
1月 10日 公益社団法人前橋青年会議所・賀詞交歓会
1月 11日 部落解放同盟菊冠旗開き、群馬県歯科医師会新年祝賀会
1月 12日 JR東労組旗開き
1月 13日 どんどん焼き(前箱田町、小相木町、大利根町、西箱田町他)
1月 14日 どんどん焼き(古市町、東箱田・後家町)
1月 15日 議員団会議、連合群馬前橋地協新年の集い

サポーター・ボランティア募集

みんな おいでよ!!

A k i r a O G A W A

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬
弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会
議員(リベラル群馬)。都市計画審議会、
前工団委員。2012年度は文教警察常任
委員会、放射能対策特別委員会に所属。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?

BLOG

ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください

akira-o.jp/blog/

GO!

スマイル キッズショッパーズ

投稿日: 2012年10月27日

今日は、前橋青年会議所主催の
子どもたちの職業体験プログラム
「スマイルキッズショッパーズ」
が開催されました。2008年から
開催されているこの事業。毎年
市内の子どもたちが楽しみにして
います。今年も1000通を超える
応募の中から、抽選で250名の
子どもたちが参加してくれました。
まちなかのたくさんのお店に
協力していただき、大人顔負けの
仕事っぷりを見せてくれた
子どもたち。私は、こども議会と
こども裁判のお手伝いをさせて
いただきました。こども議会では、
市長や市議さんにも参加して
いただき、ゴミの問題やいじめの
問題、観光振興について、こども
議員のいろんな提案を、実際
に市政に活かしてもらえること
になりました。仕事が終わると、
お給料として「100JC」という
疑似貨幣がもらえます。JC通貨を
もって、今度は街中で買い物をして
いただくことで、さらなる商店
街の活性化につながります。

箱田中学校 開校30周年

投稿日: 2012年11月1日

今日は、前橋市立箱田中学校の
開校30周年記念行事にお邪魔し
てきました。箱田中学校は、私の
自宅から歩いて5分のところにある
中学校で、毎日元気な生徒たちの
声が響いています。午前中に合唱コンクールを行い、午後
から記念式典、そして、箱田中学校の卒業生で今年のエリザベス
王妃国際音楽コンクールでみごとに第2位を獲得した「成田
達輝」さんによる記念演奏会が
行われました。誰もが楽しみにして
いた成田達輝さんの演奏。本当に
素晴らしい音色で、会場中が
圧倒されたかと思うと、途中
のマイクパフォーマンスでは、
とても気さくに楽しくお話をしてくれて、後輩たちも目をキラキラさせながら成田さんの演奏と言葉に耳を傾けていました。中学生
のうちから世界トップレベルの
本物の音楽に触れられるというのはとても貴重なことだと思います。
ましてや自分たちの先輩ともなれば、感激もひとしおですね! ご準備いただいた実行委員会の皆さん、本当に疲れ様でした。



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

● TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788

● URL.<http://akira-o.jp> ● Email info@akira-o.jp





滝川お掃除大作戦 2012.11.25

JP労組前橋支部の皆さんと、滝川クリーンエイド大作戦に参加させていただきました。これは、福祉型労働運動の一環として、4月のカーブミラー清掃に引き続き、東地区のシンボルでもある滝川を綺麗にしようというもの。郵便配達の途中、「滝川に自転車が捨てられているのがどうしても気になる!」という声から始まった企画です。



前橋土木事務所に許可を頂き、フェンスの鍵を押借し、ボランティア保険にも加入して、長靴と、かごも用意して…。準備万端でお掃除開始です。自転車ははっきり見えていたのは1台だけですが、半日の作業で、5台もの自転車を回収しました。ほかにも、パチンコ台やエアコンなど、川に捨てるのも大変な大型家電や毛布やペットボトルなど、たくさんゴミを回収しました。今回は、人が入れるところということで、浅いところのみのお掃除とな



りましたが、深いところにも、きっとたくさんゴミが溜まっているはず…! 美しい滝川を守るためにも、今後も清掃を続けていきたいと思います。





シミュレーション研修棟

県外調査 2012.11.7～2012.11.9

放射能対策特別委員会の県外調査で、福島第二原発・福島市役所・六力所村再処理センターの調査を行いました。初日の目的地は、福島第二原発。第一原発から20キロ圏内の警戒区域内にあり、空間線量も群馬県に比べると高いということもあって、将来への影響も考えて当初はこの調査自体に不安もありましたが、「それも議員の仕事」と割り切って、現地に向かいました。お昼に立ち寄った食堂は、第一原発から約30キロのところ。こちらの線量は、0.25マイクロシーベルト。店主に、除染の対応などを伺いました。



30キロ圏内に入ると、あたり一面、黄色一色で埋め尽くされています。かつて、田んぼや畑であった場所は、セイタカアワダチソウとすすきに埋め尽くされて、風にふさふさと揺れています。



20キロ圏のところで検問を受け、途中、東京電力のバスに乗り換えて、福島第二原発の敷地内になります。ここではさらに厳しい検問が行われ、一気に緊張した空気に…。ちなみに、敷地内の空間線量は、1.2マイクロシーベルト。

ト。作業に携わる方々は誰もマスクをしていませんでしたが、私はマスクをしたまま見学することにしました。初めに、所長より

震災当時の状況の説明を受け、第一原発が崩壊したのになぜ第二は助かったのか、外部からではわからない事情などについて説明していただきました。その後、研修等で、中央制御室でどういう自体が起こったかのシミュレーションを行い電源が完全に喪失するまでの慌ただしい様子を再現していただきました。第二原発の場合、外部電源で使えるものがあり、計器なども生きていたため、冷静にその後の対応を取ることができたとのこと。



その後、いよいよ原子炉建屋の中へ。使用済み燃料棒が貯蔵されているプールでは、実際に冷やされている燃料棒や制御棒を間近に見ることができました。プールの水深は12m。放射線は、1.2mの水で遮断できるそうです。この燃料プールの空間線量は、0.04マイクロシーベルト位でした。(写真①：燃料プール)



格納容器の真下では、なんと0.4ミリシーベルト(400マイクロシーベルト)という数値でした。(写真②：格納容器の真下の様子です)

約2時間、建家内部に滞在し、累積線量は0.02ミリシーベルト



写真①



写真②

でした。厳戒態勢の中の巨大な建造物の中に入り、その外部に刻まれた津波の痕跡を目にして、そこで働く多くの人たちに接し、議員それぞれが感じるところがあったと思います。帰り道、本当に真っ暗な警戒区域を通り過ぎながら、ここではもう人が生活していないことがじわじわと伝わってきて、やるせない思いになりました。

2日目は、福島市役所を訪問。放射線による健康被害の調査や放射線健康管理対策について調査しました。福島市では、ガラスバッジや妊婦さん向けの電子積算線量計の貸出し、車載型ホールボディカウンタによる子どもの健康調査、心のケア対策など様々な取り組みを実施しているとのこと。学校給食の食材検査もしっかり行い、内部被曝については市民自らも食事などに気をつけてもらうように専門家の講座なども数多く開催しているそうです。

妊婦さん向けの電子積算線量計の貸出しについては、約3万円の測定器を200台用意したもの、利用者は現段階で46人しかいないとのこと。多くのお母さんに利用してもらいたいものです。また、内部被曝に関して國の方針が全く定まっていないことや、県の窓口が統一されていないことなど、被災自治体が抱えている思いについても聞かせていただきました。とにかく市民のために、市としてできることを考え、記録に残す。何年後にどのような影響の出るかわか



福島市役所入口



ガラスバッジです



こちらは妊婦さん向けの線量計



らない放射能との戦いは始まったばかりです。ちなみに、市役所外の線量は、0.6マイクロシーベルトとかなりの高線量でした。

県外調査3日目は、青森県六力所村の日本原燃(株)の施設を調査。PRセンターでは事業の概要説明を受けた後、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理工場を見させていただきました。低レベル放射性廃棄物埋設センターは、全国の原発から集められた放



射性廃棄物を埋設する施設。低レベルというのは、1000億ベクレル以下のものを言うそうです。低レベルの放射性廃棄物は、各地の原発で200ℓドラム缶にコンクリート詰めにされ、この施設に集められます。そして、厚さ60センチのコンクリートの埋設施設にドラム缶を俵積みにし、コンクリートで覆います。全ての区画がいっぱいになつたら、最終的にはこの埋設施設全体を土で埋めることになります。高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターでは、フランス・イギリスに処理を依頼していた高レベルの廃棄物が、ガラス固化体となって返還されたものを冷却のために貯蔵しています。ガラス固化体の表面は、毎時1500シーベルトの放射線を放出しているということで、人間が近づくと20秒も経たずに致死量に達するという説明がありました。(人間の致死量は、7000ミリシーベルトと言われています。)再処理工場は、これまで出た使用済み核燃料をウラン・プルトニウム酸化物に処理する施設。日本国内の核燃料を再処理するのに20年はかかるといいます。放射性物質の半減期や、再処理の過程、発電の役割を終えた原発の廃炉の課程を考えたときに、本当に何十年、何百年も後の世代に関わる大きな問題であると改めて感じました。

来年度予算にむけた提言

2012年12月25日、会派リベラル群馬で2013年度の群馬県予算への提言を提出しました。県内経済の活性化や雇用対策、安全・安心なくらしへの提言、公共交通活性化、行財政改革など最重要課題5項目20要望に絞り込んだ提言です。要望については、平成25年1月末までに回答をいただく予定になっています。

I 県独自の経済活性化及び雇用対策への提言

- 「ジョブカフェぐんま」や地元大学等の取り組みを支援し、若者と地元企業とのマッチング強化策を講じること。
- 障害者雇用率の向上のため、県機関や県事業の発注先等での率先雇用に取り組むとともに、障害者雇用に積極的な企業等に対する税制・財政面での支援策を講じること。
- 平成25年度に設置される上海事務所の具体的な役割と任務を明確にし、「がん特区」とリンクして成果を上げること。
- 再生可能エネルギーの導入推進にあたっては、地元企業のチャレンジを後押しできるよう、他県で行われているファンドの創設など実効ある支援策を講じること。
- 雇用と所得を確保し、若者や子どもも集落に定住できる地域を創るため、農林業生産と加工・販売の一体化や地域資源を活用した新たな産業を創出し、農山村の6次産業化を推進すること。

II 安全安心な暮らしへの提言

- 子どもへの放射能による健康被害に対し多くの県民が不安視していることから、有識者会議での答申にとらわれず、子どもの健康調査を実施すること。
- 本県において国が進める放射能の指定廃棄物最終処分場建設については、自治体や住民の合意をなしに建設を進めないこと。
- 放射能被害及び風評被害で大きな被害を受けている「いたけ農家」に対する県の支援を強化すること。
- 大規模地震の発生に備えて、日常的な危機管理体制を構築するとともに、東日本大震災の教訓を生かし、市町村との連携を一層強化すること。併せて、負傷者の受け入れ態勢に伴う病院・診療所の病床数の把握、遺体火葬の受け入れに伴う火葬場の状況、がれき処理の受け入れ態勢等、広範囲な課題について明確にしておくこと。
- 超高齢化社会の進展に伴い認知症者は増加の一途をたどり、医療と介護のあり方が問われていることから、群馬県介護研修センターの現行制度を堅持し、介護の質・量ともに高めていくこと。
- 精神障がい、身体障がい、知的障がいの本人に対する生きがい観や就労機会の支援、家族に対する看護・介護の軽減及び医療・福祉制度の活用を推進すること。

- 女性が暴力や命の危険にさらされることなく安心して暮らせる環境を整えるため、ストーカー対策及びDV相談支援体制をより強化し、警察や弁護士会、DV被害者支援団体など民間を含めた関係機関との連携を深めること。また、DV予防教育を拡充すること。
- スクールカウンセラーを小学校全校に配置すること。

III 公共交通活性化への提言

- 富岡製糸場の世界遺産登録、東国文化の発信を見据え、本県の弱みである二次交通強化のため、観光と公共交通を結びつけた振興策を一層推進すること。
- 今年度策定した「まちづくりビジョン」の具現化に向け、公共交通の再生強化を軸としたコンパクトな都市づくりを目指した具体的な施策を進めること。

IV 行財政改革に向けた提言

- 職員の意識改革・人材育成など本質的な行政改革に重点を置き、一般職の給与カット等は断じて行わないこと。
- 今後予想される、国の公共事業を中心とした大型景気対策に安易に同調せず、財政規律を維持し、将来世代に負担を残さない財政運営に努めること。
- 外部委員等による事業仕分けを充実し、事業の見直しを一層進めること。
- 医療費無料化に対する国のペナルティ措置は地域主権の流れに逆行することから、解消に向け強力に働きかけること。

V その他重要課題に対する要望事項

- 高崎競馬場跡地利用計画にあたっては、客観的な需要調査、SWOT分析等を行い、採算性等の情報を県民に明らかにしたうえで進めること。
- 森林環境税の制度設計にあたっては、県民や企業の参加を促進するためのソフト事業・ボランティア支援事業を大幅に拡充すること。また、CO₂吸収量のクレジット化事業など先駆的な事業を盛り込むこと。